令和５年度
人権に関する市民意識調査
結　果　報　告　書

伊勢崎市市民部人権課
人権啓発係

目　次

Ⅰ　調査の概要 1
1　調査の目的 1
2　調査の方法 1
3　調査項目 1
4　回収結果 1
5　集計にあたって 1
6　回答者の属性 2
（1）　性別 2
（2）　年代 2
（3）　職業 3
（4）　回答者属性のクロス集計 3
Ⅱ　調査の結果 5
1　人権全般について 5
（1）　基本的人権について 5
（2）　関心を持つ人権問題について 6
（3）　差別や人権侵害について 7
2　各種人権問題について 11
（1）　女性 11
（2）　子ども 13
（3）　高齢者 14
（4）　障害のある人 15
（5）　部落差別（同和問題） 16
（6）　外国籍の人 21
（7）　エイズ患者・ＨＩＶ感染者 22
（8）　犯罪被害者やその家族 23
（9）　インターネットによる人権侵害 24
(10)　ＬＧＢＴなど性的少数者 25
(11)　効果的な啓発方法 26
Ⅲ　資料（調査票） 27

Ⅰ　調査の概要

１　調査の目的

人権に関する市民意識を把握し、その結果を第３次人権教育・啓発の推進に関する伊勢崎市基本計画の策定及び今後の人権行政の基礎資料とすることを目的としています。

２　調査の方法

（１）　調査地域　　伊勢崎市全域
（２）　調査対象者　伊勢崎市に在住する満１８歳以上の人
（３）　標本数　　２，０００人
（４）　抽出方法　　住民基本台帳から無作為抽出
（５）　実施方法　　郵送による配付及び郵送回収及びＷＥＢから回答
（６）　調査期間　　令和５年１０月４日（水）～令和５年１１月１５日（水）

３　調査項目

（１）　回答者属性　　問１～問３
（２）　人権全般ついて　　問４～問７
（３）　各種人権問題について　　問８～問１８
（４）　自由記述

４　回収結果

配布数 （人）Ａ	回収数 （人）	有効回収数 （人）Ｂ	有効回収率 （％）Ｂ/Ａ＊100
2,000	690	690	34.5

５　集計にあたって

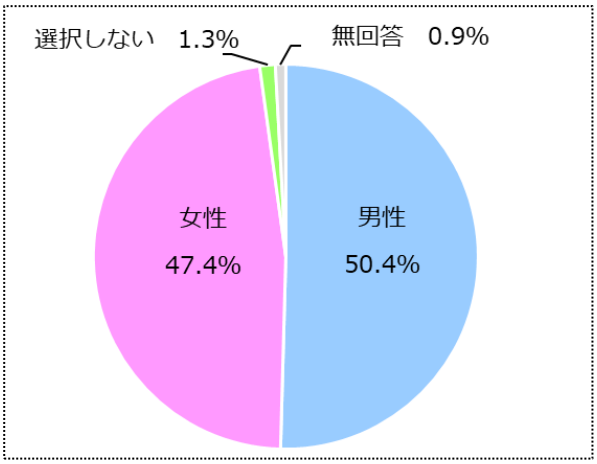
（１）　調査結果の比率は、その設問の回答者総数（ｎ）を基数として、小数点第２位を四捨五入しています。このため、端数処理の関係で、合計が１００％にならない場合があります。

（２）　複数回答の設問の場合、回答比率の合計が１００％を超える場合があります。
（３）　選択肢の語句が長い場合、本文中及び表やグラフにおいて、省略した表現を用いている場合があります。
（４）　本報告書の中で比較のため用いているデータは次のとおりです。
「前回調査」　平成２５年度に伊勢崎市が実施した人権に関する市民意識調査
「県調査」　令和４年度に群馬県が実施した人権問題に関する県民意識調査
なお、「前回調査」は、対象年齢が２０歳以上であり、１８歳以上である本調査との比較は、厳密なものではありません。

６　回答者の属性

（１）　性別

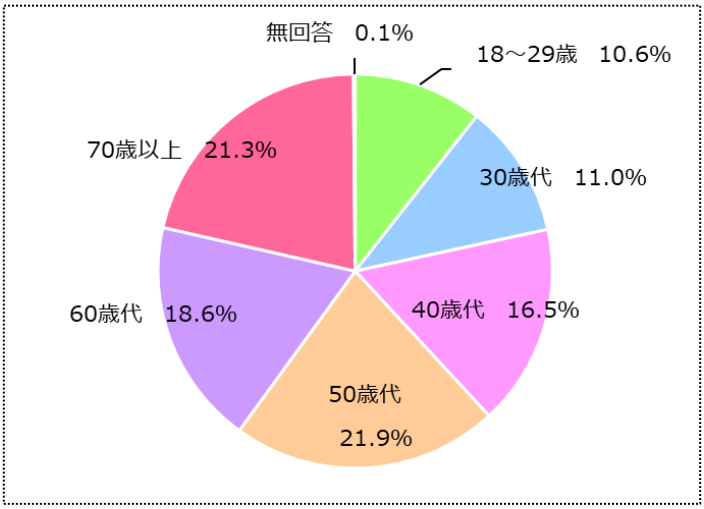
【問１】	回答数（人）	割合（％）
男性	348	50.4
女性	327	47.4
選択しない	9	1.3
無回答	6	0.9
計	690	100.0



性別の回収数は、「男性」が３４８人で５０．４％、「女性」が３２７人で４７．４％であり、「男性」の割合が３ポイント高くなっています。

（２）　年代

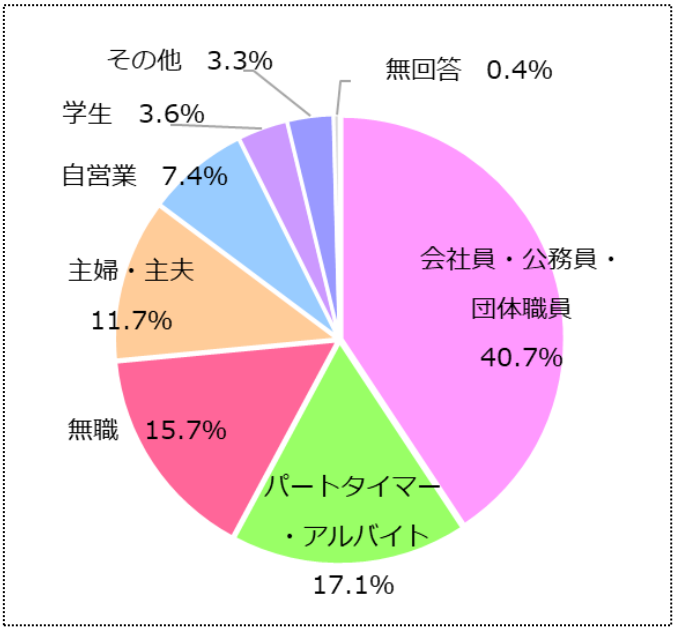
【問２】	回答数（人）	割合（％）
18～29歳	73	10.6
30歳代	76	11.0
40歳代	114	16.5
50歳代	151	21.9
60歳代	128	18.6
70歳以上	147	21.3
無回答	1	0.1
計	690	100.0



年代については、「５０歳代」が１５１人（２１．９％）で最も多く、最も少ないのは「１８～２９歳」で７３人（１０．６％）でした。

（３）　職業

【問３】	回答数（人）	割合（%）
会社員・公務員・団体職員	281	40.7
自営業	51	7.4
パート・アルバイト	118	17.1
主婦・主夫	81	11.7
学生	25	3.6
無職	108	15.7
その他	23	3.3
無回答	3	0.4
計	690	99.9

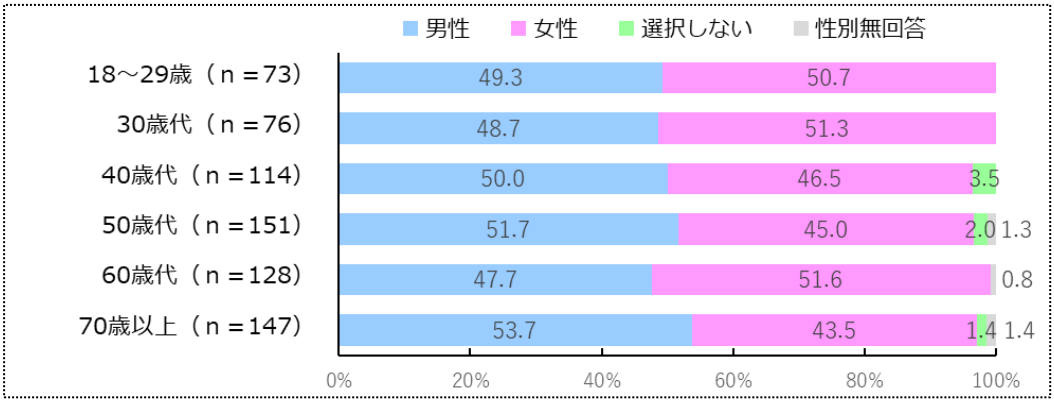


職業は、「会社員・公務員・団体職員」が２８１人（４０．７%）で最も多く、次いで「パートタイマー・アルバイト」が１１８人（１７．１%)、「無職」が１０８（１５．７%)、「主婦・主夫」が８１人（１１．７%)、「自営業」が５１人（７．４%）でした。

（４）　回答者属性のクロス集計

【年代×性別】

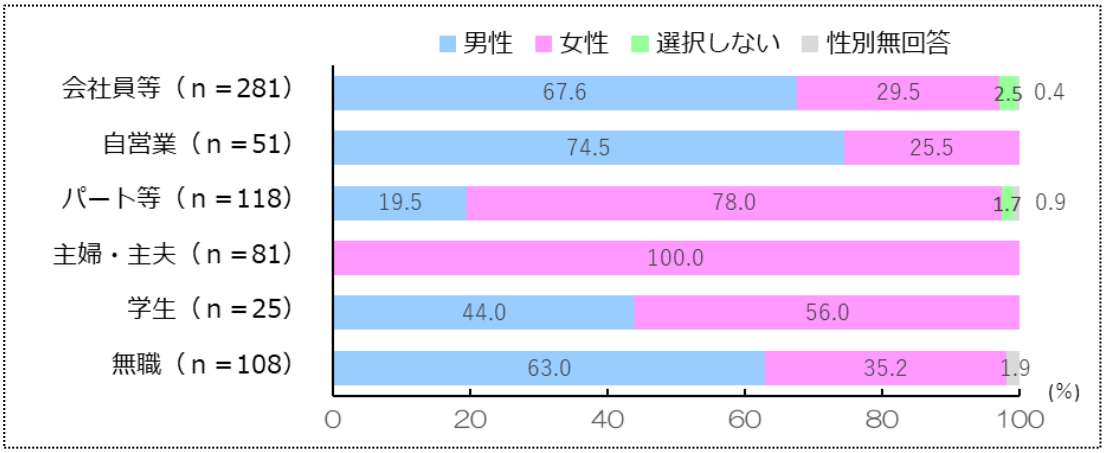
問１×問２	男性		女性		選択しない		性別無回答		計
	人	%	人	%	人	%	人	%	人
18～29歳	36	49.3	37	50.7	0	0.0	0	0.0	73
30歳代	37	48.7	39	51.3	0	0.0	0	0.0	76
40歳代	57	50.0	53	46.5	4	3.5	0	0.0	114
50歳代	78	51.7	68	45.0	3	2.0	2	1.3	151
60歳代	61	47.7	66	51.6	0	0.0	1	0.8	128
70歳以上	79	53.7	64	43.5	2	1.4	2	1.4	147
年代無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1
全体	348	50.4	327	47.4	9	1.3	6	0.9	690



年代別の性別割合を比較すると、男性の割合が高いのは７０歳以上で５３．７％、次いで５０歳代が５１．７％、４０歳代が５０．０％、女性の割合が高いのは６０歳代で５１．６％、次いで３０歳代が５１．３％、１８～２９歳が５０．７％でした。

【職業×性別】

問１×問３	男性		女性		選択しない		性別無回答		計
	人	%	人	%	人	%	人	%	人
会社員・公務員・団体職員	190	67.6	83	29.5	7	2.5	1	0.4	281
自営業	38	74.5	13	25.5	0	0.0	0	0.0	51
パートタイマー・アルバイト	23	19.5	92	78.0	2	1.7	1	0.9	118
主婦・主夫	0	0.0	81	100.0	0	0.0	0	0.0	81
学生	11	44.0	14	56.0	0	0.0	0	0.0	25
無職	68	63.0	38	35.2	0	0.0	2	1.9	108
その他	17	73.9	6	26.1	0	0.0	0	0.0	23
職業無回答	1	33.3	0	0.0	0	0.0	2	66.7	3
全体	348	50.4	327	47.4	9	1.3	6	0.9	690



男性の割合が高いのは「自営業」で７４．５％、次いで「会社員・公務員・団体職員」の６７．６％、「無職」の６３．０％、女性の割合が高いのは「主婦・主夫」で１００．０％、次いで「パート・アルバイト」の７８．０％、「学生」の５６．０％でした。

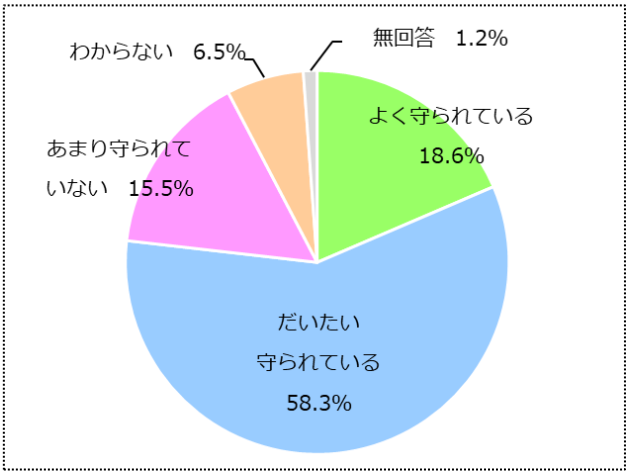
Ⅱ　調査の結果

１　人権全般について

（１）　基本的人権について

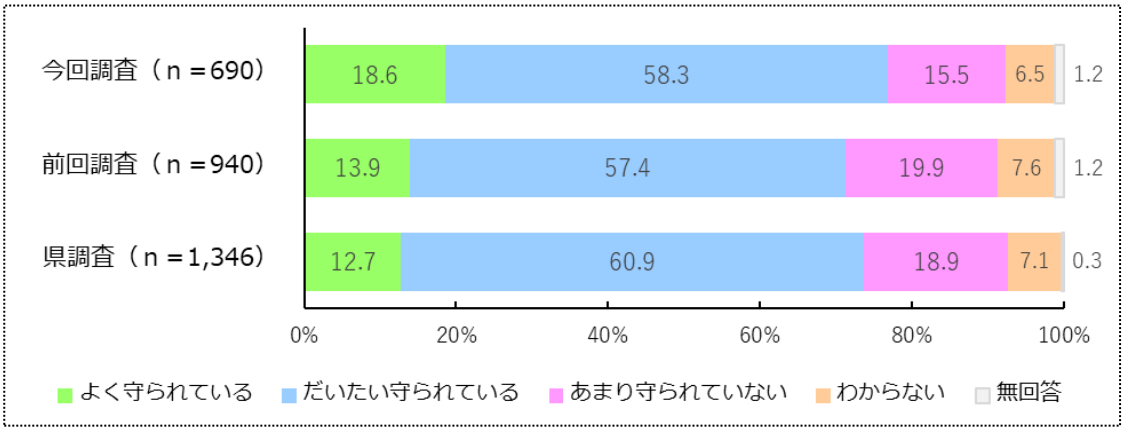
【問４】　憲法では、基本的人権を守るため、個人の尊重、幸福追求の権利、教育を受ける権利、勤労の権利などを定めています。あなたは、基本的人権が守られていると思いますか。

	回答数	割合
よく守られている	128	18.6
だいたい守られている	402	58.3
あまり守られていない	107	15.5
わからない	45	6.5
無回答	8	1.2
計	690	100.0



「よく守られている」「だいたい守られている」と回答した人は５３０人（７６．９％)、「あまり守られていない」と回答した人は１０７人（１５．５％）となり、多くの人が「守られている」と回答しました。

▽　前回調査及び県調査との比較（割合）



前回調査と比較すると、「守られている」と回答した人が、今回調査では７６．９％、前回調査では７１．３％と５．６ポイント増加し、「あまり守られていない」と回答した人が、今回調査では１５．５％、前回調査では１９．９％と４．４ポイント減少しました。

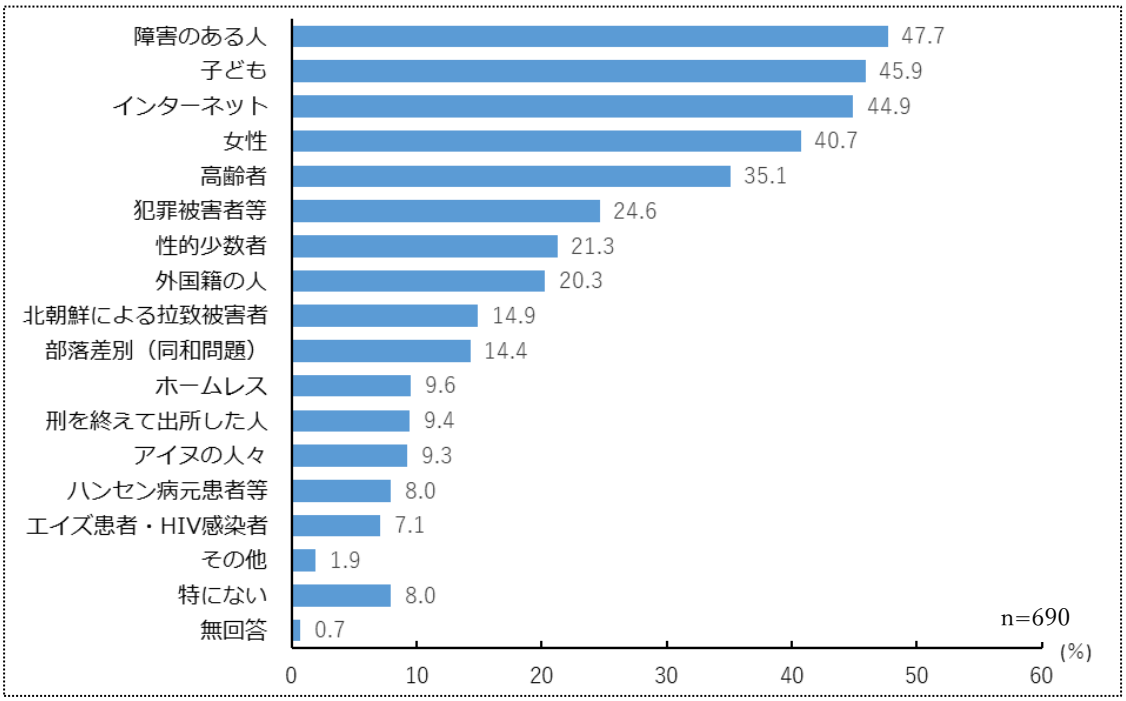
県の調査と比較すると、「守られている」と回答した人が、今回調査では７６．

９％、県調査では７３．６％と３．３ポイント高く、「あまり守られていない」と回答した人が、今回調査では１５．５％、県調査では１８．９％と３．４ポイント低い結果となりました。

（２）　関心を持つ人権問題について

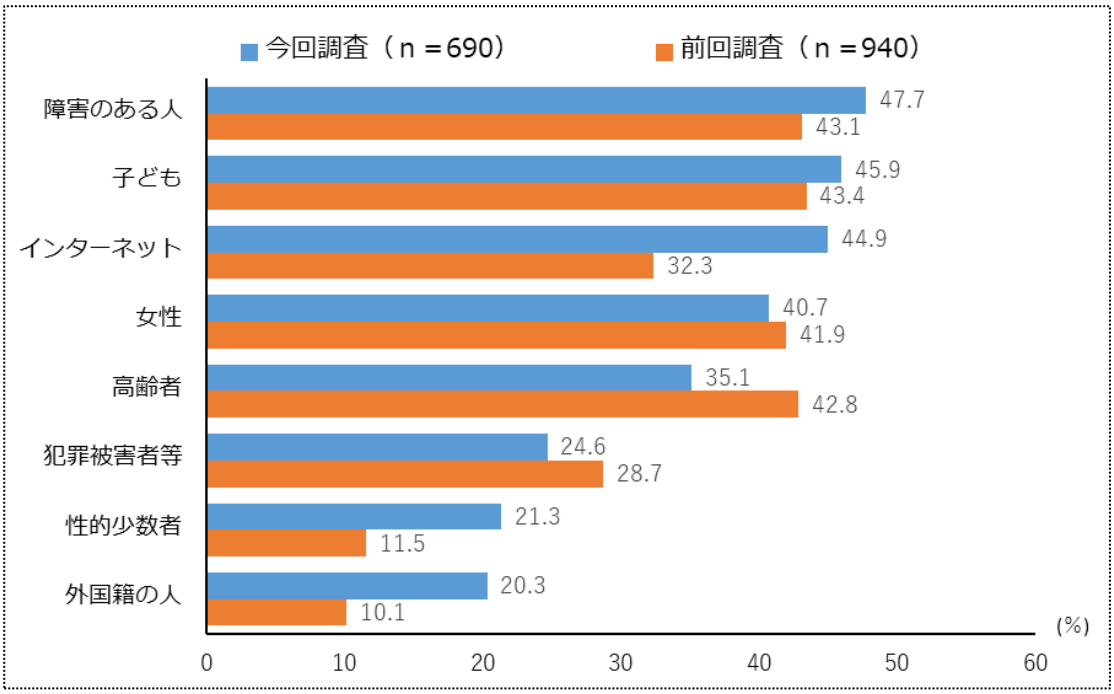
【問５】　あなたが関心を持つ人権問題はどのようなものがありますか。
（複数回答）

	回答数	割合		回答数	割合
障害のある人	329	47.7	部落差別（同和問題）	99	14.4
子ども	317	45.9	ホームレス	66	9.6
インターネット	310	44.9	刑を終えて出所した人	65	9.4
女性	281	40.7	アイヌの人々	64	9.3
高齢者	242	35.1	ハンセン病元患者等	55	8.0
犯罪被害者等	170	24.6	エイズ患者・HIV感染者	49	7.1
性的少数者	147	21.3	その他	13	1.9
外国籍の人	140	20.3	特にない	55	8.0
北朝鮮による拉致被害者	103	14.9	無回答	5	0.7
			回答者数	690	



「障害のある人」と回答した人が最も多く３２９人（４７．７％）となりました。次いで「子ども」が３１７人（４５．９％)、「インターネット」が３１０人（４４．９％)、「女性」が２８１人（４０．７％）でした。

▽　今回調査の上位項目における前回調査との比較（割合）

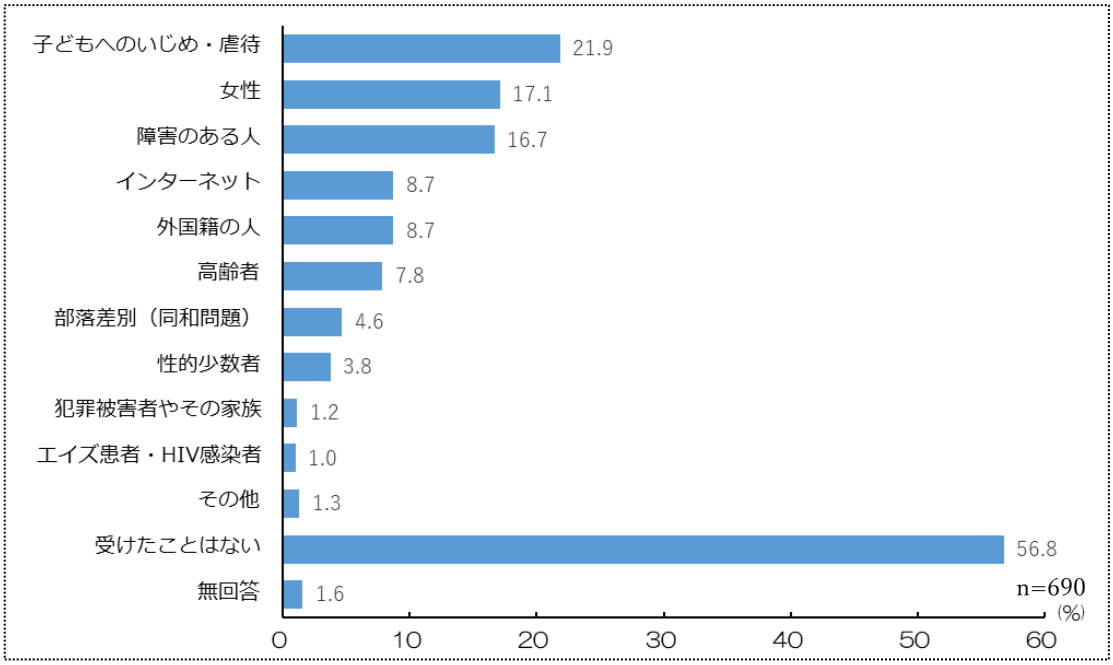


関心のある人権問題について、今回調査では「障害のある人」「子ども」「インターネット」「性的少数者」「外国籍の人」が前回調査より割合が高くなっており、「女性」「高齢者」「犯罪被害者等」が前回調査より割合が低くなっています。

（３）　差別や人権侵害について

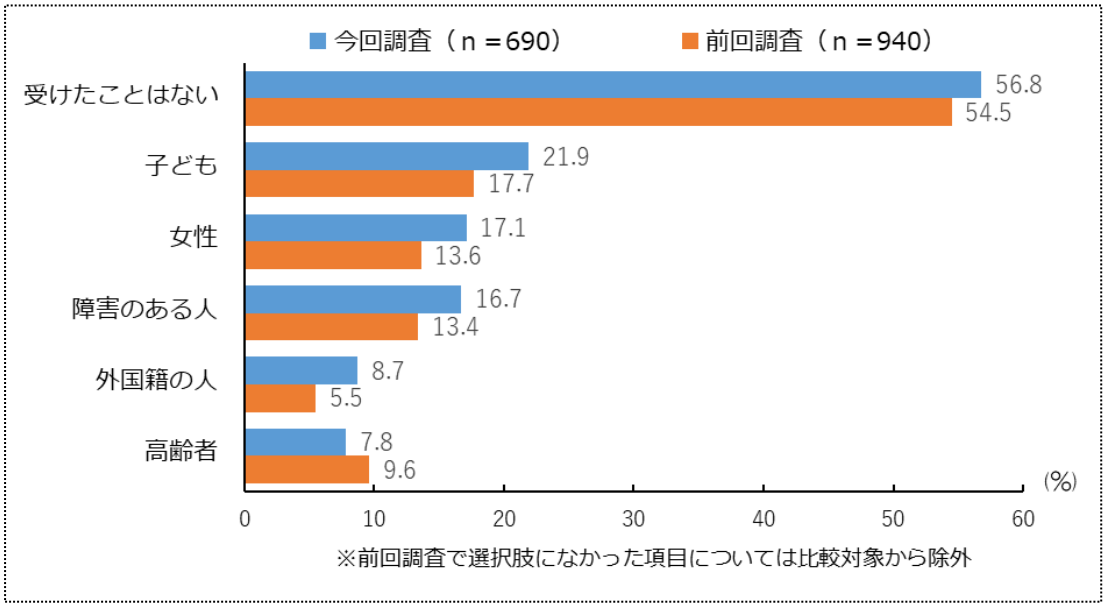
【問６】　あなたやあなたの周りの人が、次のような差別や人権侵害を受けたことがありますか。（複数回答）

選択肢	回答数	割合	選択肢	回答数	割合
子どもへのいじめ・虐待	151	21.9	LGBTなど性的少数者に対する差別	26	3.8
女性に対する差別	118	17.1	犯罪被害者やその家族に対する差別	8	1.2
障害のある人に対する差別	115	16.7	エイズ患者・HIV感染者に対する差別	7	1.0
外国籍の人に対する差別	60	8.7	その他	9	1.3
インターネットでの人権侵害	60	8.7	受けたことはない わからない	392	56.8
高齢者に対する差別	54	7.8	無回答	11	1.6
部落差別（同和問題）に関係する差別	32	4.6	回答者数	690	



「受けたことはない、わからない」と回答した人が最も多く３９２人（５６．８％）でした。次いで「子どもへのいじめ・虐待」が１５１人（２１．９％)、「女性に対する差別」が１１８人（１７．１％)、「障害のある人に対する差別」が１１５人（１６．７％）でした。

▽　今回調査の上位項目における前回調査との比較（割合）

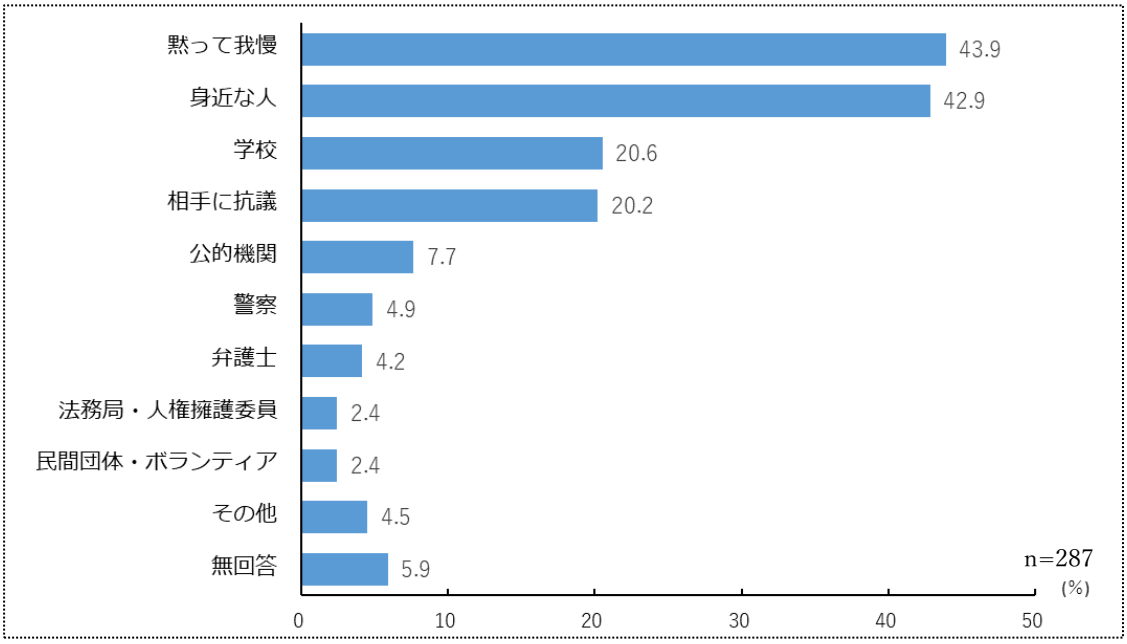


前回調査と比較したところ、「受けたことはない、わからない」と回答した人が２．３ポイント増加していました。また、「高齢者に対する差別」以外の項目は、前回調査より増加していました。

【問６－１】　あなたやあなたの周りの人は、その差別や人権侵害に対しどのように対処しましたか。（複数回答）

※　問６で差別や人権侵害を受けたことがあると回答した人（２８７人）への質問です。

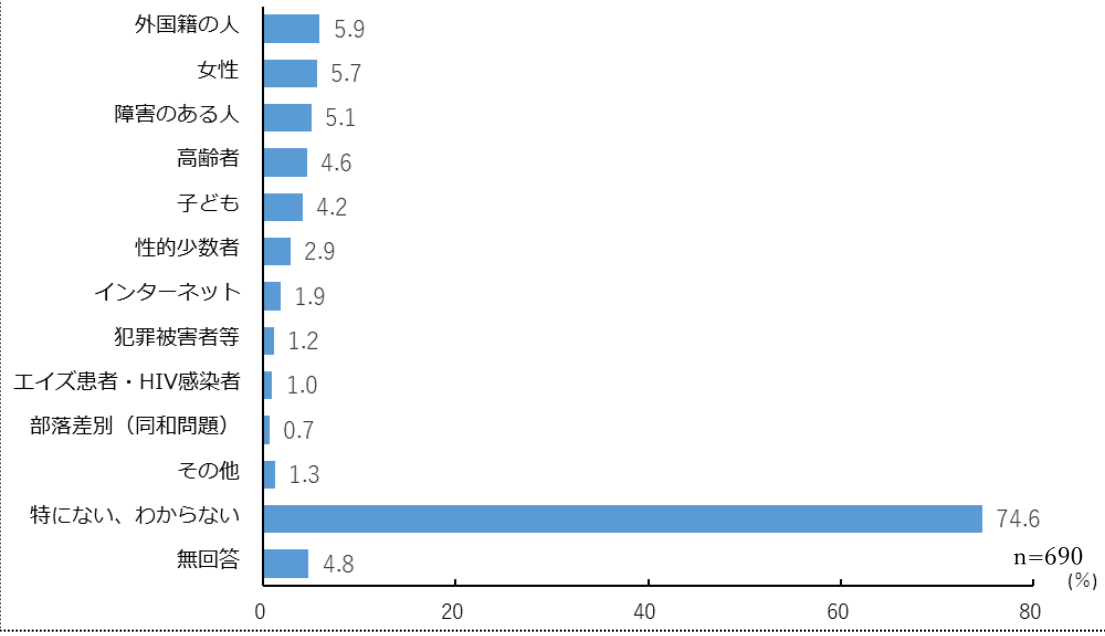
	回答数	割合		回答数	割合
黙って我慢した	126	43.9	弁護士に相談した	12	4.2
身近な人に相談した	123	42.9	法務局・人権擁護委員に相談した	7	2.4
学校に相談した	59	20.6	民間団体・ボランティアに相談した	7	2.4
相手に抗議した	58	20.2	その他	13	4.5
県や市町村などの公的機関に相談した	22	7.7	無回答	17	5.9
警察に相談した	14	4.9	回答者数	287	



「黙って我慢した」と回答した人が最も多く１２６人（４３．９％）、次いで「身近な人に相談した」が１２３人（４２．９％）、「学校に相談した」が５９人（２０．６％）、「相手に抗議した」が５８人（２０．２％）でした。

【問７】　あなたは、これまでに、次のような差別的な行動や発言をしてしまったことがありますか。（複数回答）

	回答数	割合		回答数	割合
外国籍の人に対する差別	41	5.9	犯罪被害者やその家族に対する差別	8	1.2
女性に対する差別	39	5.7	エイズ患者・HIV感染者に対する差別	7	1.0
障害のある人に対する差別	35	5.1	部落差別（同和問題）に関係する差別	5	0.7
高齢者に対する差別	32	4.6	その他	9	1.3
子どもへのいじめ・虐待	29	4.2	特にない、わからない	515	74.6
LGBTなど性的少数者に対する差別	20	2.9	無回答	33	4.8
インターネットでの人権侵害	13	1.9	回答者数	690	



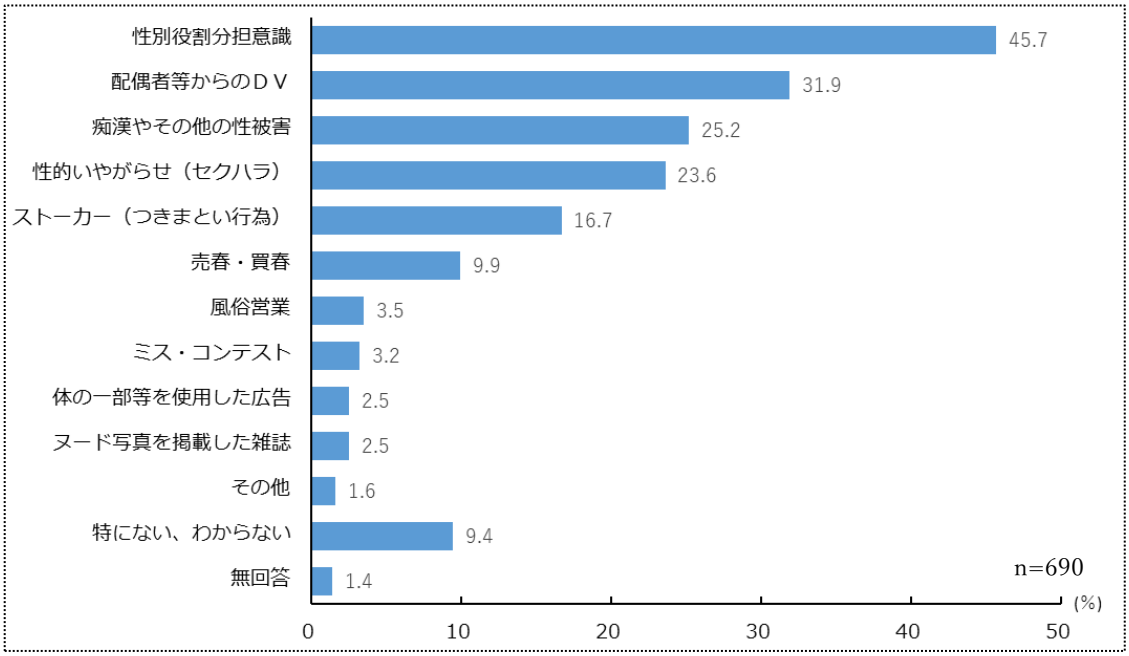
「特にない、わからない」と回答した人が最も多く５１５人（７４．６％）でした。差別的な発言や行動の内容としては「外国籍の人に対する差別」と回答した人が最も多く４１人（５．９％）、次いで「女性に対する差別」が３９人（５．７％）、「障害のある人に対する差別」が３５人（５．１％）でした。

２　各種人権問題について

（１）　女性

【問８】　女性に関することで、人権上問題と思われるのはどのようなことですか。（複数回答）

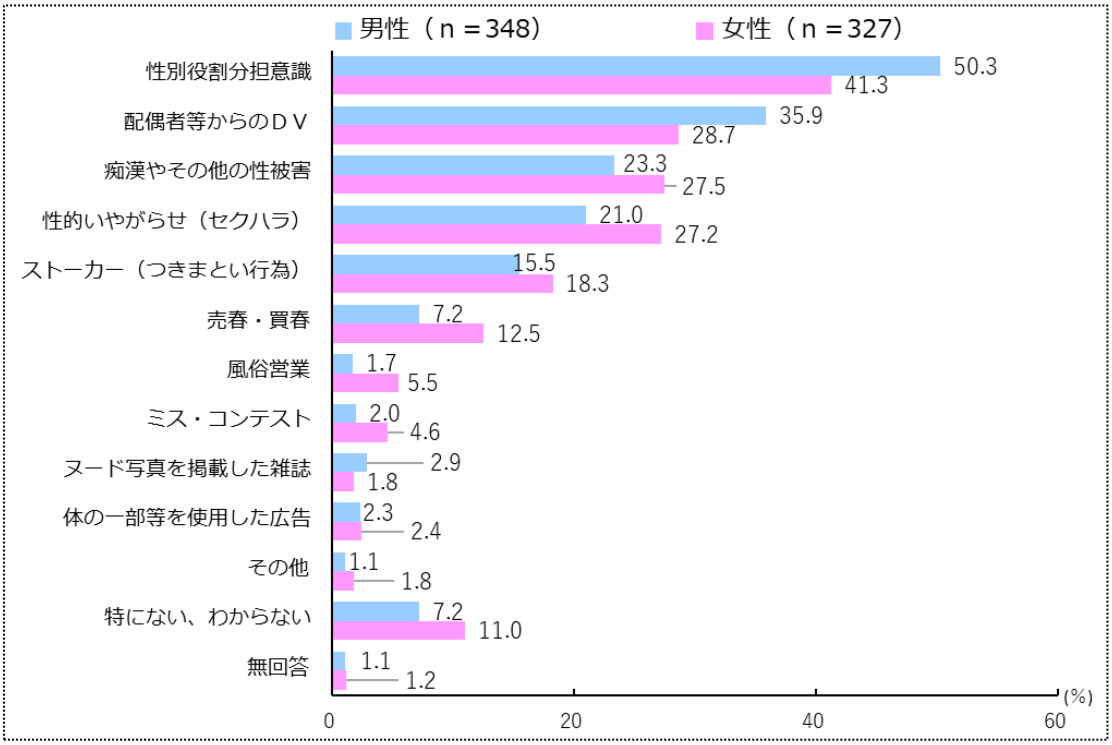
	回答数	割合		回答数	割合
固定的な性別役割分担意識	315	45.7	女性の容ぼうを競うミス・コンテスト	22	3.2
配偶者やパートナーからのＤＶ	220	31.9	女性のヌード写真を掲載した雑誌	17	2.5
痴漢やその他の性被害	174	25.2	女性の体の一部等を内容に関係なく使用した広告	17	2.5
職場における性的いやがらせ（セクハラ）	163	23.6	その他	11	1.6
女性に対するストーカー（つきまとい行為）	115	16.7	特にない、わからない	65	9.4
売春・買春	68	9.9	無回答	10	1.4
女性の働く風俗営業	24	3.5	回答者数	690	



「固定的な性別役割分担意識」と回答した人が最も多く３１５人（４５．７％）でした。次いで「配偶者やパートナーからのＤＶ」が２２０人（３１．９％)、「痴漢やその他の性被害」が１７４人（２５．２％)、「職場における性的いやがらせ（セクハラ)」が１６３人（２３．６％）でした。

▽　クロス集計（男女別）

	男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合
固定的な性別役割分担意識	175	50.3	135	41.3
配偶者やパートナーからのＤＶ	125	35.9	94	28.7
痴漢やその他の性被害	81	23.3	90	27.5
職場における性的いやがらせ（セクハラ）	73	21.0	89	27.2
女性に対するストーカー（つきまとい行為）	54	15.5	60	18.3
売春・買春	25	7.2	41	12.5
女性の働く風俗営業	6	1.7	18	5.5
女性の容ぼうを競うミス・コンテスト	7	2.0	15	4.6
女性のヌード写真を掲載した雑誌	10	2.9	6	1.8
女性の体の一部等を内容に関係なく使用した広告	8	2.3	8	2.4
その他	4	1.1	6	1.8
特にない、わからない	25	7.2	36	11.0
無回答	4	1.1	4	1.2
回答者数	348		327	

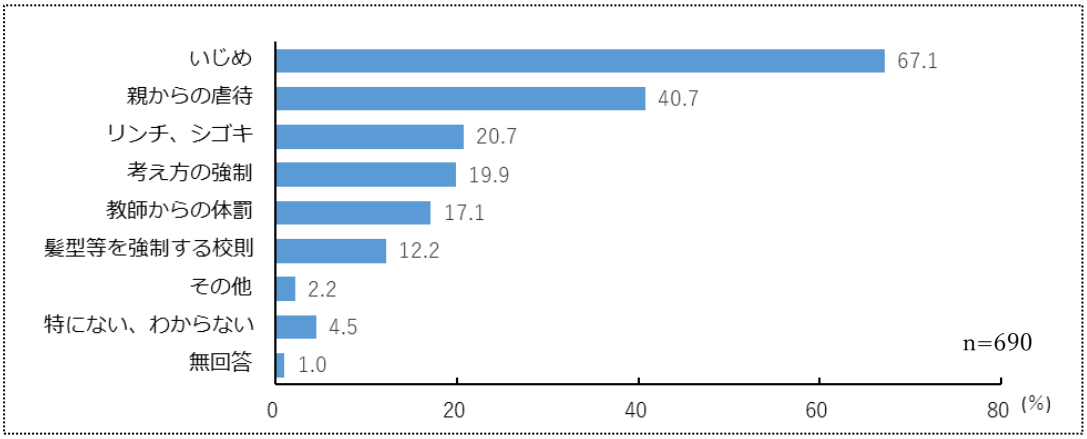


「固定的な性別役割分担意識」については、男性が５０．３％、女性が４１．３％で男性が９ポイント高く、「配偶者やパートナーからのＤＶ」については、男性が３５．９％、女性が２８．７％で男性が７．２ポイント高い結果となりました。

（２）　子ども

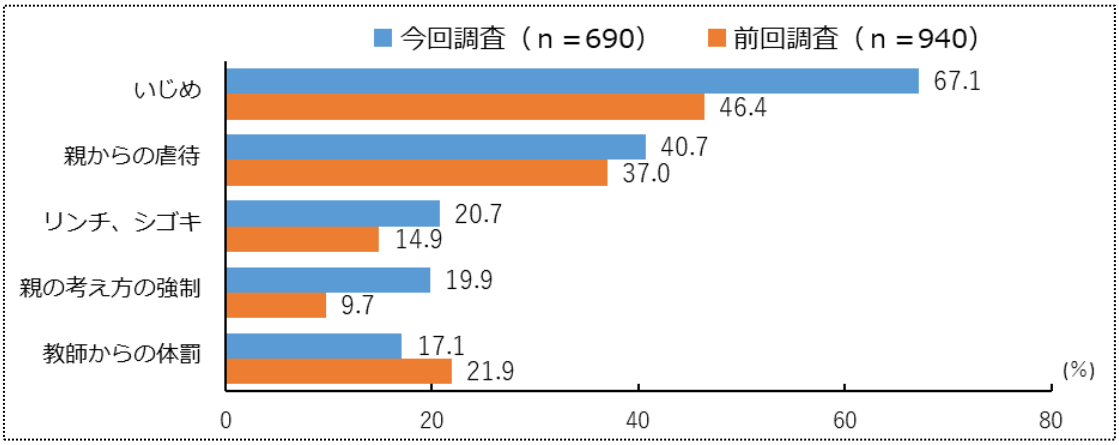
【問９】　子どもに関することで、人権上問題と思われるのはどのようなことですか。（複数回答）

	回答数	割合		回答数	割合
仲間はずれや嫌がらせなどのいじめ	463	67.1	髪型や服装を強制する校則	84	12.2
親からの虐待	281	40.7	その他	15	2.2
学校や部活動などでのリンチ、シゴキ	143	20.7	特にない、わからない	31	4.5
親による自分の考え方の強制	137	19.9	無回答	7	1.0
教師からの体罰	118	17.1	回答者数	690	



「仲間はずれや嫌がらせなどのいじめ」と回答した人が最も多く、４６３人（６７．１%)、次いで「親からの虐待」が２８１人（４０．７%)、「学校や部活動でのリンチ、シゴキ」が１４３人（２０．７%)、「親による自分の考え方の強制」が１３７人（１９．９%）でした。

▽　今回調査の上位項目における前回調査との比較（割合）

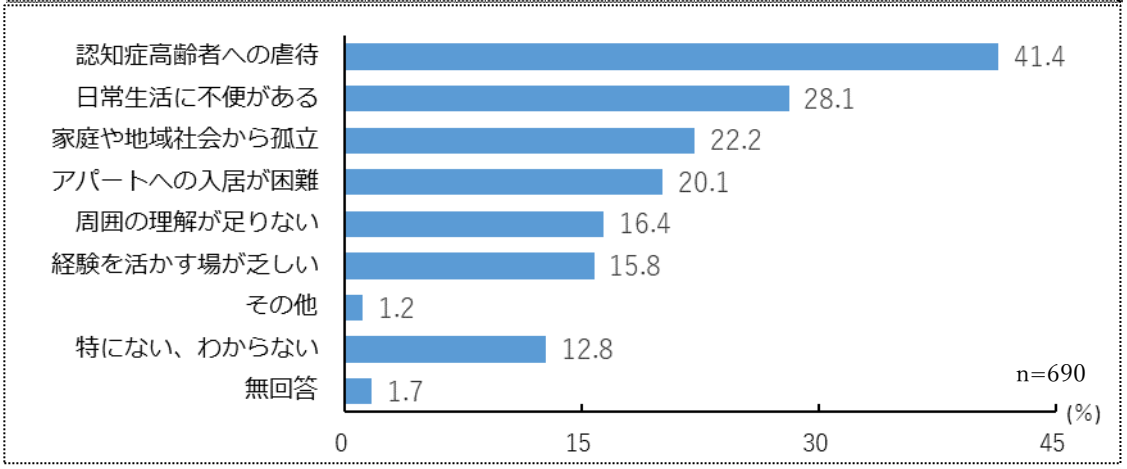


前回調査の割合と比較したところ、「仲間はずれや嫌がらせなどのいじめ」と回答した人が２０．７ポイント増加しました。また、「教師からの体罰」と答えた方の割合は４．８ポイント減少しました。

（３）　高齢者

【問１０】　高齢者に関することで、人権上問題と思われるのはどのようなことですか。（複数回答）

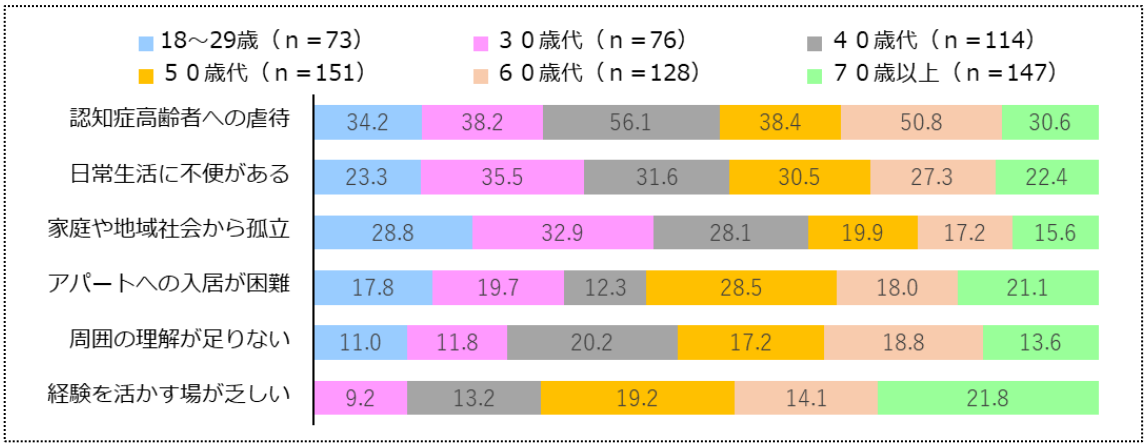
	回答数	割合		回答数	割合
認知症等の高齢者に対する虐待	286	41.4	知識や経験を活かす場が乏しい	109	15.8
日常生活を送るのに不便がある	194	28.1	その他	8	1.2
家庭や地域社会から孤立している人がいる	153	22.2	特にない、わからない	88	12.8
アパートなど住宅への入居が困難	139	20.1	無回答	12	1.7
高齢者に対して周囲の理解が足りない	113	16.4	回答者数	690	



「認知症等の高齢者に対する虐待」と回答した人が最も多く２８６人（４１．４％）でした。次いで「日常生活を送るのに不便がある」が１９４人（２８．１％)、「家庭や地域社会から孤立している人がいる」が１５３人（２２．２％)、「アパートなど住宅への入居が困難」が１３９人（２０．１％）でした。

▽　クロス集計（年代別）

	18～29歳		３０歳代		４０歳代		５０歳代		６０歳代		７０歳以上		年齢無回答		計
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人
認知症高齢者への虐待	25	34.2	29	38.2	64	56.1	58	38.4	65	50.8	45	30.6	0	0.0	286
日常生活に不便がある	17	23.3	27	35.5	36	31.6	46	30.5	35	27.3	33	22.4	0	0.0	194
家庭や地域社会から孤立	21	28.8	25	32.9	32	28.1	30	19.9	22	17.2	23	15.6	0	0.0	153
アパートへの入居が困難	13	17.8	15	19.7	14	12.3	43	28.5	23	18.0	31	21.1	0	0.0	139
周囲の理解が足りない	11	15.1	9	11.8	23	20.2	26	17.2	24	18.8	20	13.6	0	0.0	113
経験を活かす場が乏しい	8	11.0	7	9.2	15	13.2	29	19.2	18	14.1	32	21.8	0	0.0	109
その他	0	0.0	1	1.3	2	1.8	2	1.3	2	1.6	1	0.7	0	0.0	8
特にない わからない	16	21.9	9	11.8	7	6.1	14	9.3	13	10.2	29	19.7	0	0.0	88
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.7	3	2.3	7	4.8	1	100.0	12
回答者数	73		76		114		151		128		147		1		690

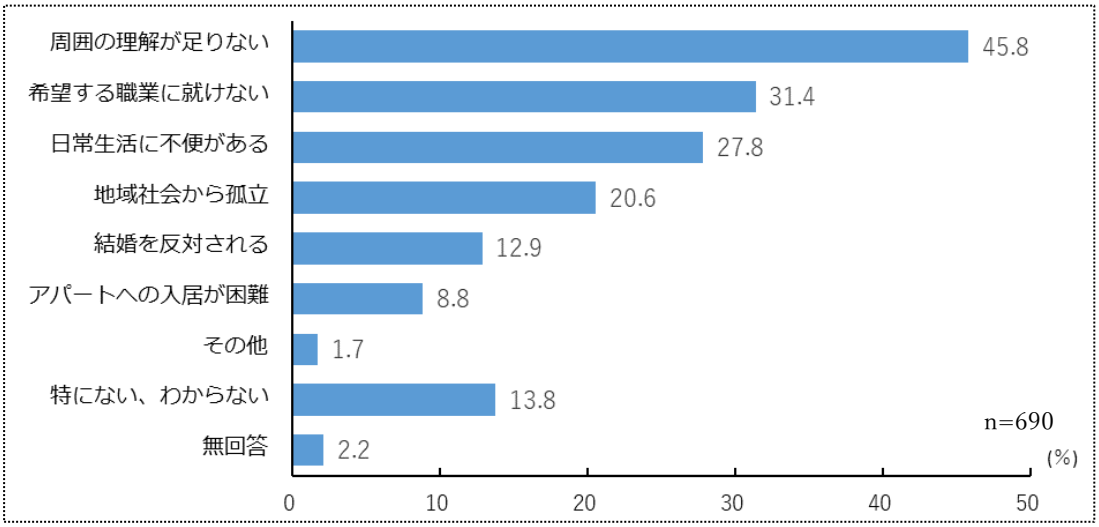


上位項目における年代別の回答割合の分布を比較すると、「認知症高齢者への虐待」は４０歳代、「日常生活に不便がある」は３０歳代、「家庭や地域社会から孤立している」と回答した人は３０歳代、「知識や経験を生かす場が乏しい」は７０歳以上がそれぞれ最も高い結果となりました。

（４）　障害のある人

【問１１】　障害のある人に関することで、人権上問題と思われるのはどのようなことですか。（複数回答）

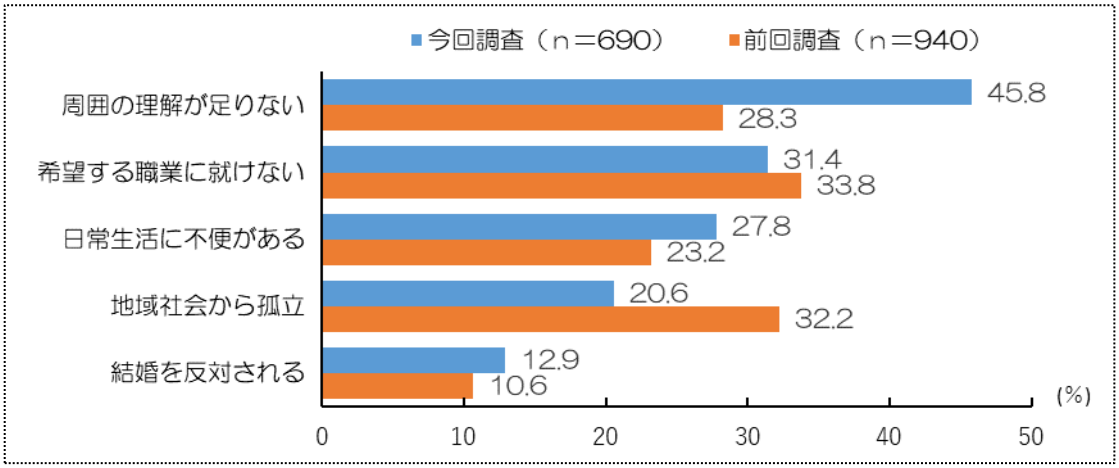
	回答数	割合		回答数	割合
障害のある人に対して周囲の理解が足りない	316	45.8	アパートなど住宅への入居が困難	61	8.8
希望する職業に就けない	217	31.4	その他	12	1.7
日常生活を送るのに不便がある	192	27.8	特にない、わからない	95	13.8
地域社会から孤立しがちである	142	20.6	無回答	15	2.2
結婚をする際に周囲から反対を受ける	89	12.9	回答者数	690	



「障害のある人に対して周囲の理解が足りない」と回答した人が最も多く３１６人（４５．８％）、次いで「希望する職業に就けない」が２１７人（３１．４％）、「日

常生活を送るのに不便がある」が１９２人（２７．８％)、「地域社会から孤立しがちである」が１４２人（２０．６％）でした。

▽　今回調査の上位項目における前回調査との比較（割合）

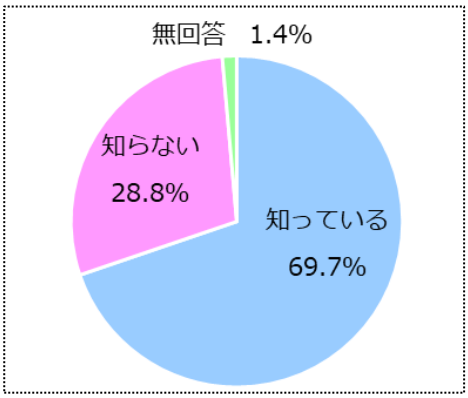


前回調査と比較したところ、「障害のある人に対して周囲の理解が足りない」が１７．５ポイント、「日常生活を送るのに不便がある」が４．６ポイント、「結婚をする際に周囲から反対を受ける」が２．３ポイント増加し、「希望する職業に就けない」が２．４ポイント、「地域社会から孤立しがちである」が１１．６ポイント減少しました。

（５）　部落差別（同和問題）

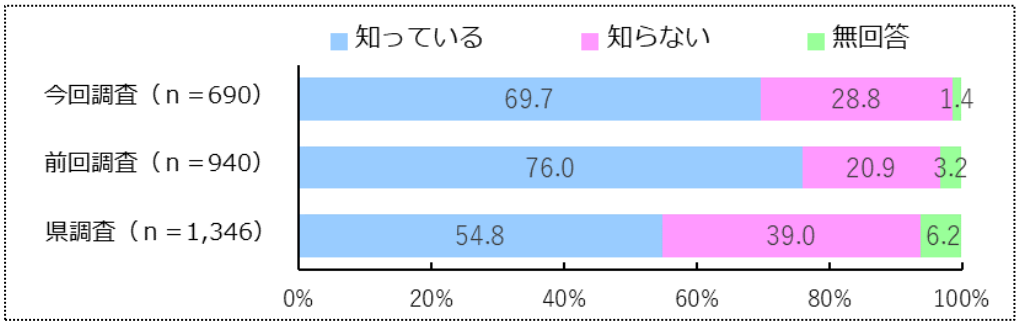
【問１２】　あなたは同和地区と呼ばれている地区があること、あるいは部落差別（同和問題）といわれる問題を知っていますか。

	回答数	割合
知っている	481	69.7
知らない	199	28.8
無回答	10	1.4
計	690	99.9



「知っている」と回答した人が４８１人（６９．７％)、「知らない」と回答した人が１９９人（２８．８％）でした。

▽　前回調査及び県調査との比較（割合）

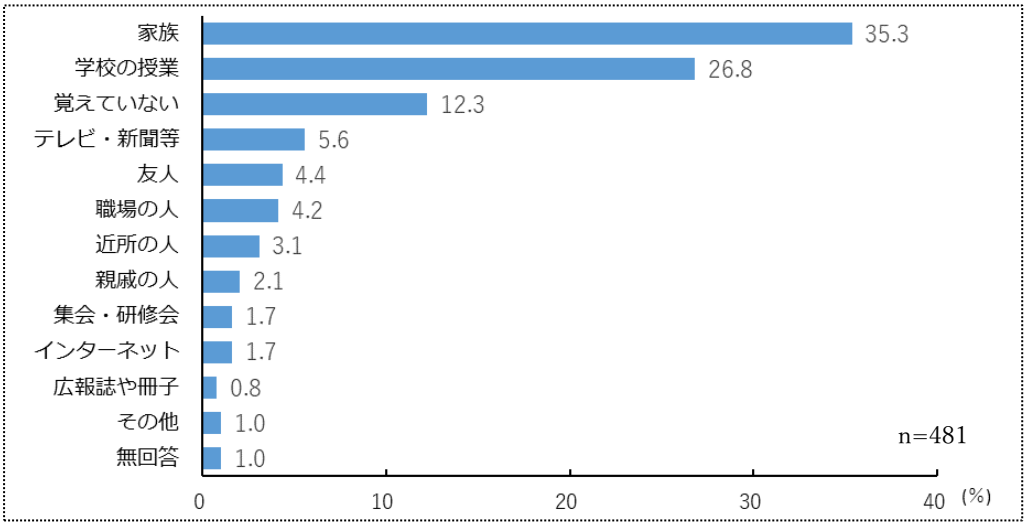


「知っている」と回答した人は、前回調査から６．３ポイント減少していますが、県調査との比較では、１４．９ポイント多い結果となりました。

【問１２－１】　あなたが、部落差別（同和問題）について、初めて知ったきっかけは何ですか。

※　問１２で「知っている」と回答した人（４８１人）への質問

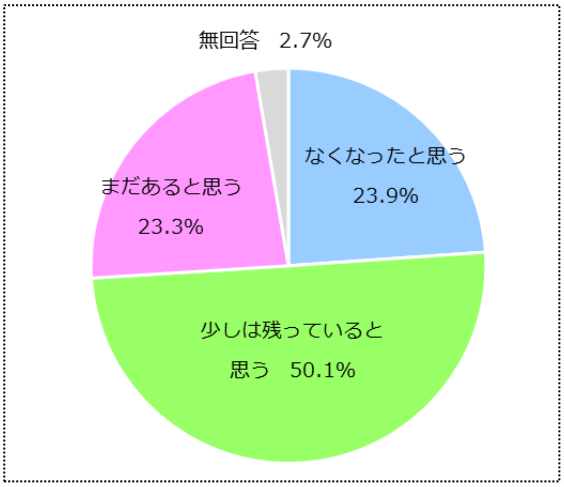
	回答数	割合		回答数	割合
祖父母、父母、兄弟などの家族から聞いた	170	35.3	親戚の人から聞いた	10	2.1
学校の授業で教わった	129	26.8	インターネットで知った	8	1.7
部落差別（同和問題）は知っているがきっかけは覚えていない	59	12.3	部落差別（同和問題）に関する集会や研修会で知った	8	1.7
テレビ・ラジオ・新聞・本で知った	27	5.6	都道府県や市区町村の広報誌や冊子などで知った	4	0.8
友人から聞いた	21	4.4	その他	5	1.0
職場の人から聞いた	20	4.2	無回答	5	1.0
近所の人から聞いた	15	3.1	回答者数	481	



「祖父母、父母、兄弟などの家族から聞いた」と回答した人が最も多く１７０人（３５．３％）、次いで「学校の授業で教わった」が１２９人（２６．８％）、「部落差別（同和問題）は知っているが、きっかけは覚えていない」が５９人（１２．３％）でした。

【問１２－２】　あなたは、部落差別（同和問題）はなくなったと思いますか。
※　問１２で「知っている」と回答した人（４８１人）への質問

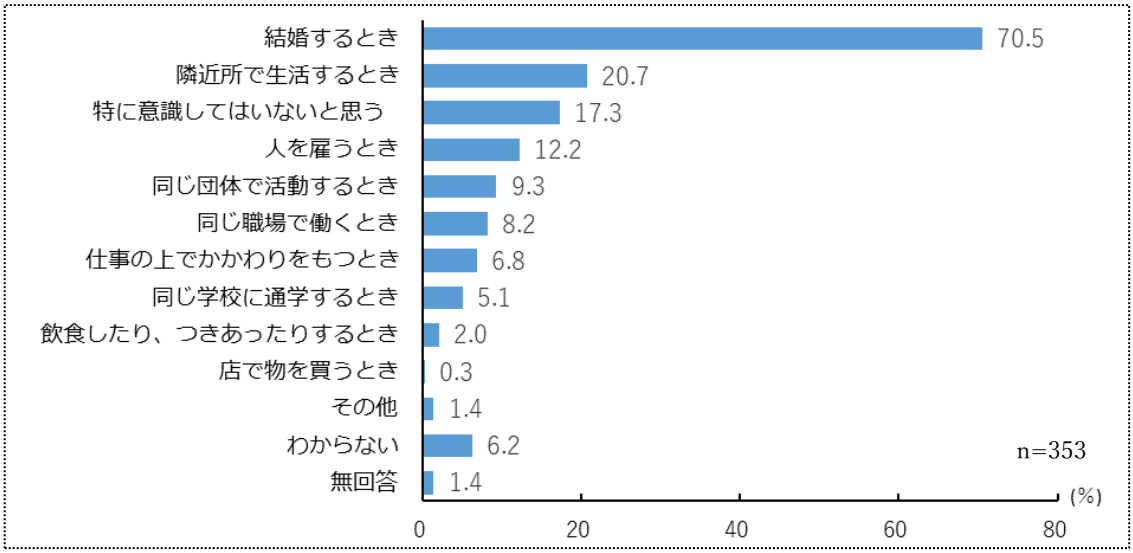
	回答数	割合
なくなったと思う	115	23.9
少しは残っている と思う	241	50.1
まだあると思う	112	23.3
無回答	13	2.7
計	481	100.0



「なくなったと思う」と回答した人が１１５人（２３．９%)、「少しは残っていると思う」と回答した人が２４２人（５０．１%)、「まだあると思う」と回答した人が１１２人（２３．３%）でした。

【問１２－３】　あなたは、世間の人々が、どういう場合に部落差別（同和問題）を気にしたり、意識しているとお考えですか。（複数回答）
※　問１２－２で「少しは残っていると思う」「まだあると思う。」と回答した人（３５３人）への質問

	回答数	割合		回答数	割合
結婚するとき	249	70.5	同じ学校に通学するとき	18	5.1
隣近所で生活するとき	73	20.7	飲食したり、つきあったりするとき	7	2.0
特に意識してはいないと思う	61	17.3	店で物を買うとき	1	0.3
人を雇うとき	43	12.2	その他	5	1.4
同じ団体（町内会やＰＴＡなど）のメンバーとして活動するとき	33	9.3	わからない	22	6.2
同じ職場で働くとき	29	8.2	無回答	5	1.4
仕事の上でかかわりをもつとき	24	6.8	回答者数	353	

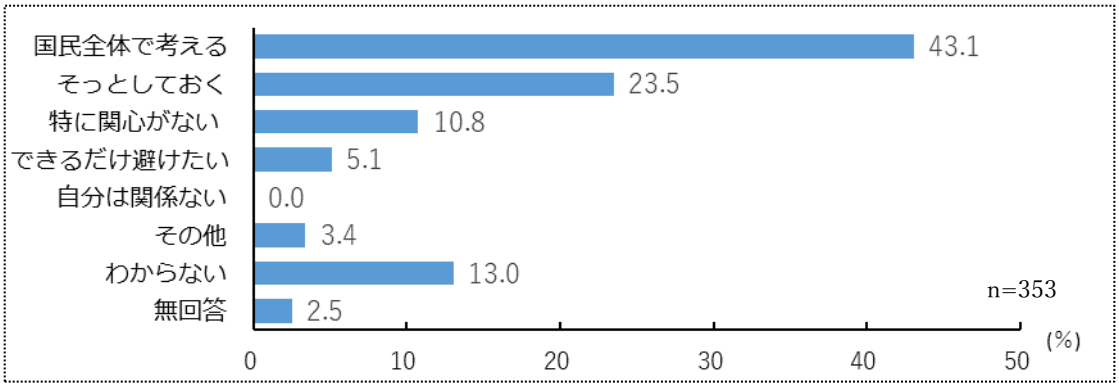


「結婚するとき」と回答した人が最も多く２４９人（７０．３%)、次いで「隣近所で生活するとき」が７３人（２０．６%)、「特に意識してはいないと思う」が６１人（１７．２%）でした。

【問１２－４】　部落差別（同和問題）について、あなたはどう考えますか。（複数回答）

※　問１２－２で「少しは残っていると思う」「まだあると思う。」と回答した人（３５３人）への質問

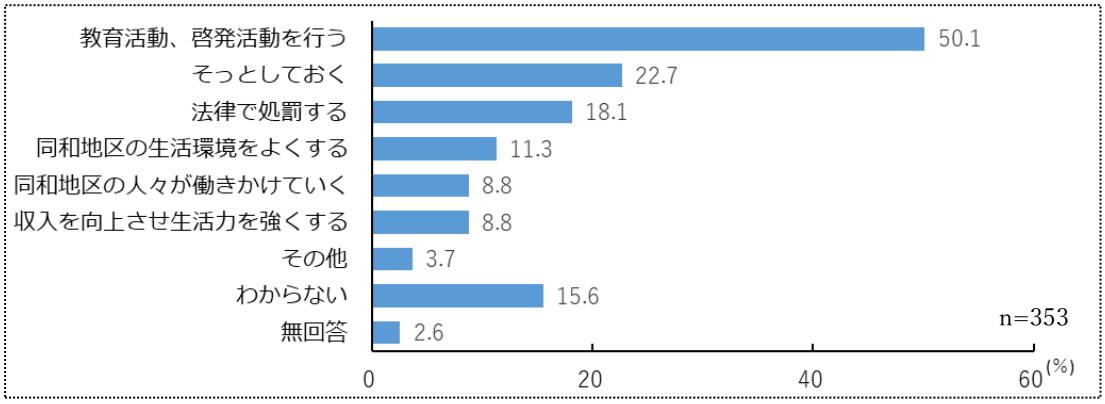
	回答数	割合
人間の自由や平等などにかかわる問題なので、国民（市民）全体で考える	152	43.1
あまりさわがず、そっとしておくのがよい	83	23.5
特に関心がない	38	10.8
非常に難しい問題なので、できるだけ避けていきたい	18	5.1
同和地区の人々の問題であるから、自分は関係ない	0	0.0
その他	12	3.4
わからない	46	13.0
無回答	9	2.5
回答者数	353	



「人間の自由や平等などにかかわる問題なので、国民（市民）全体で考える」と回答した人が最も多く１５２人（４３．１%)、次いで「あまりさわがずそっとしておくのがよい」が８３人（２３．５%)、「特に関心がない」が３８人（１０．７%）でした。

【問１２－５】　あなたは、部落差別（同和問題）を解決するためには、どうしたらよいとお考えですか。重要だと思うものを次から選んでください。（複数回答）
※　問１２－２で「少しは残っていると思う」「まだあると思う。」と回答した人（３５３人）への質問

	回答数	割合
学校教育、社会教育を通じて、差別をなくし、人権を大切にする教育活動、啓発活動を積極的に行う	177	50.1
同和地区や差別のことを口に出さないで、そっとしておけば自然になくなる	80	22.7
差別をしたり、差別を営利目的などに使ったりする者を法律で処罰する	64	18.1
同和地区の生活環境をよくする	40	11.3
同和地区の人々の収入を向上させ、教育水準を高め、生活力を強くする	31	8.8
同和地区の人々が、差別に負けず、積極的に行政や同和地区外の人々に働きかけていく	31	8.8
その他	13	3.7
わからない	55	15.6
無回答	9	2.6
回答者数	353	

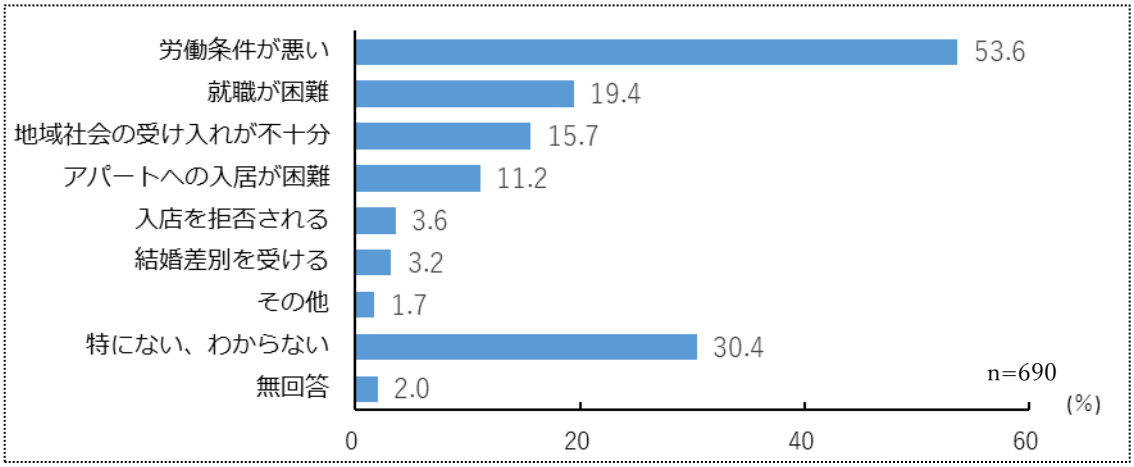


「教育活動、啓発活動を積極的に行う」と回答した人が最も多く１７７人（５０．１%)、次いで「そっとしておけば自然になくなる」が８０人（２２．７%)、「差別をしたり、差別を営利目的などに使ったりする者を法律で処罰する」が６４人（１８．１%）でした。

（６）　外国籍の人

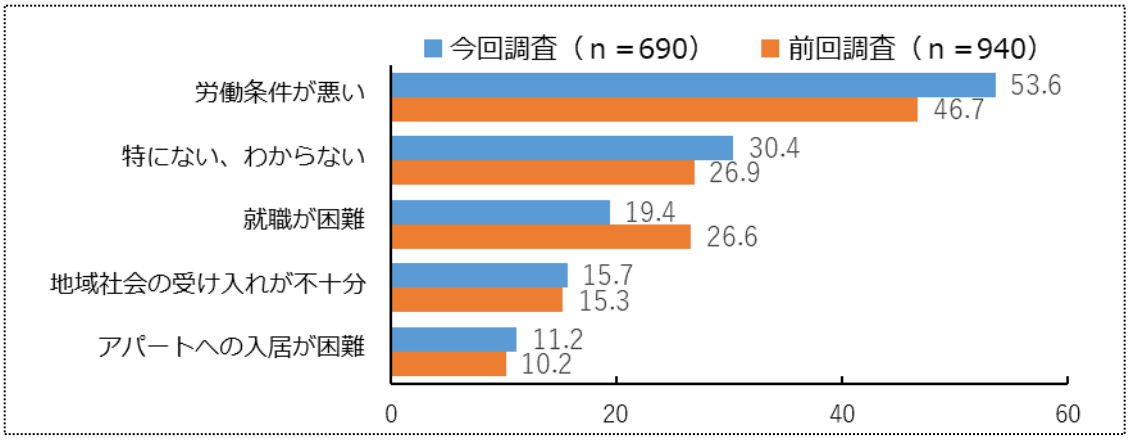
【問１３】　外国籍の人に関することで、人権上問題と思われるのはどのようなことですか。（複数回答）

	回答数	割合		回答数	割合
不当に解雇されたり、低賃金で働かされるなど労働条件が悪い	370	53.6	結婚差別を受ける	22	3.2
就職が困難	134	19.4	その他	12	1.7
町内会など地域社会の受け入れが十分でない	108	15.7	特にない、わからない	210	30.4
アパートなどの住宅への入居が困難	77	11.2	無回答	14	2.0
店によっては入店を拒否される	25	3.6	回答者数	690	



「不当に解雇されたり、低賃金で働かされるなど労働条件が悪い」と回答した人が最も多く３７０人（５３．６%）、次いで「特にない、わからない」が２１０人（３０．４%）、「就職が困難」が１３４人（１９．４%）、「町内会など地域社会の受け入れが十分でない」が１０８人（１５．７%）でした。

▽　今回調査における上位項目の前回調査との比較（割合）

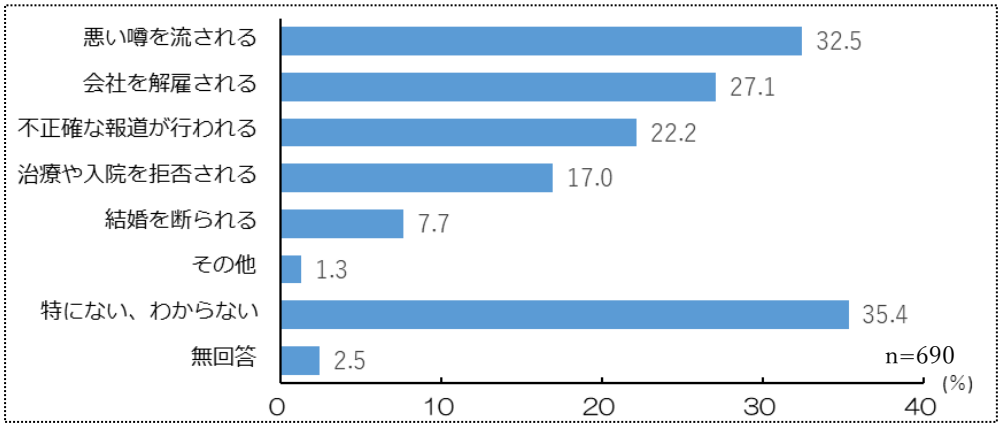


前回調査と比較したところ、「不当に解雇されたり、低賃金で働かされるなど労働条件が悪い」と回答した人の割合が６．９ポイント、「特にない、わからない」が３．５ポイント増加し、「就職が困難」と回答した人の割合が７．２ポイント減少しました。

（７）　エイズ患者・ＨＩＶ感染者

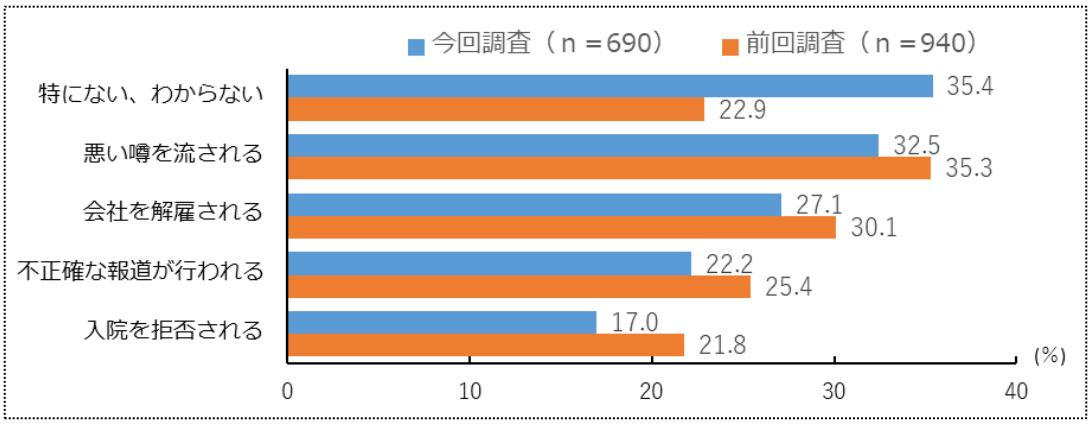
【問１４】　エイズ患者・ＨＩＶ感染者に関することで、人権上問題と思われるのはどのようなことですか。（複数回答）

	回答数	割合		回答数	割合
園や学校で、仲間はずれにされたり、よからぬ（悪い）噂を流される	224	32.5	結婚を断られたり、離婚を迫られたりする	53	7.7
感染しているとわかった社員が会社を解雇される	187	27.1	その他	9	1.3
マスメディアで、興味本位や不正確な報道が行われる	153	22.2	特にない、わからない	244	35.4
感染者や患者が病院で治療や入院を拒否される	117	17.0	無回答	17	2.5
			回答者数	690	



「特にない、わからない」と回答した人が最も多く２４４人（３５．４％）、次いで「園や学校で、仲間はずれにされたり、よからぬ（悪い）噂を流される」が２２４人（３２．５％）、「感染しているとわかった社員が会社を解雇される」が１８７人（２７．１％）でした。

▽　今回調査の上位項目における前回調査との比較（割合）

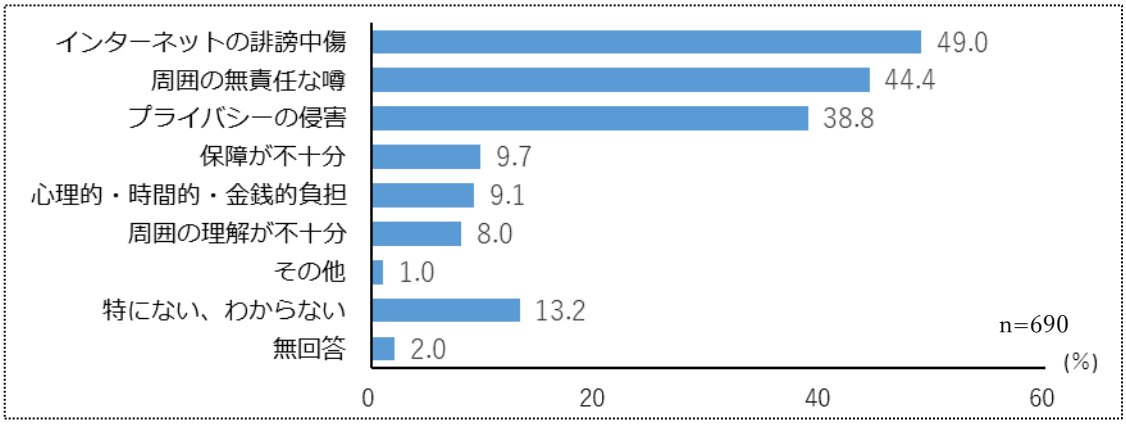


前回調査と比較したところ、「特にない、わからない」と回答した人の割合が１２．５ポイント増加し、園や学校で、仲間はずれにされたり、よからぬ（悪い）噂を流される」が２．８ポイント、「感染しているとわかった社員が会社を解雇される」が３．０ポイント、「マスメディアで、興味本位や不正確な報道が行われる」が３．２ポイント減少しました。

（８）　犯罪被害者やその家族

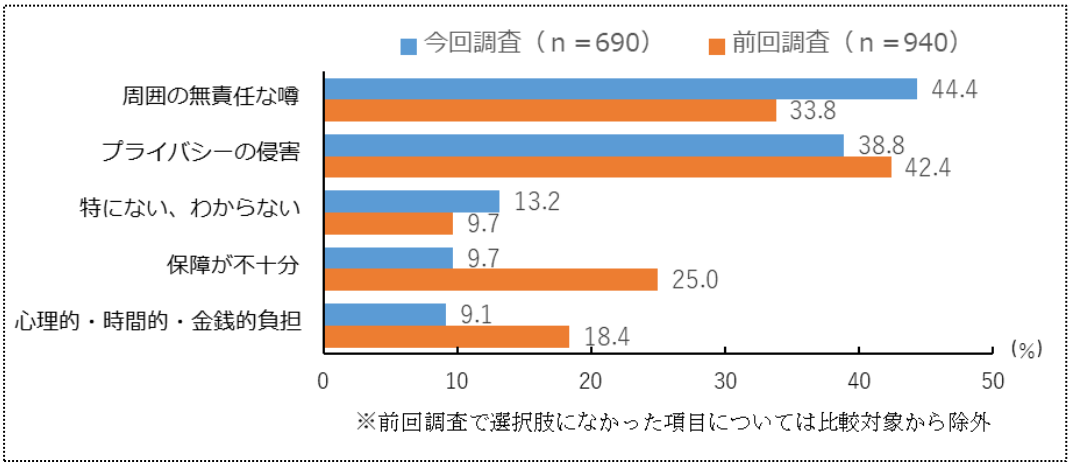
【問１５】　犯罪被害者やその家族に関することで、人権上問題と思われるのはどのようなことですか。（複数回答）

	回答数	割合		回答数	割合
SNSなどのインターネットによる誹謗中傷	338	49.0	職場や学校、地域で十分な理解が得られていない	55	8.0
周囲の人の無責任な噂	306	44.4	その他	7	1.0
過度な取材等によるプライバシーの侵害	268	38.8	特にない、わからない	91	13.2
犯罪被害者等に対する保障が不十分	67	9.7	無回答	14	2.0
捜査や裁判での心理的・時間的・金銭的な負担	63	9.1	回答者数	690	



「ＳＮＳなどのインターネットによる誹謗中傷」と回答した人が最も多く３３８人（４９．０％）、次いで「周囲の人の無責任な噂」が３０６人（４４．４％）、「過度な取材等によるプライバシーの侵害」が２６８人（３８．８％）でした。

▽　今回調査の上位項目における前回調査との比較（割合）

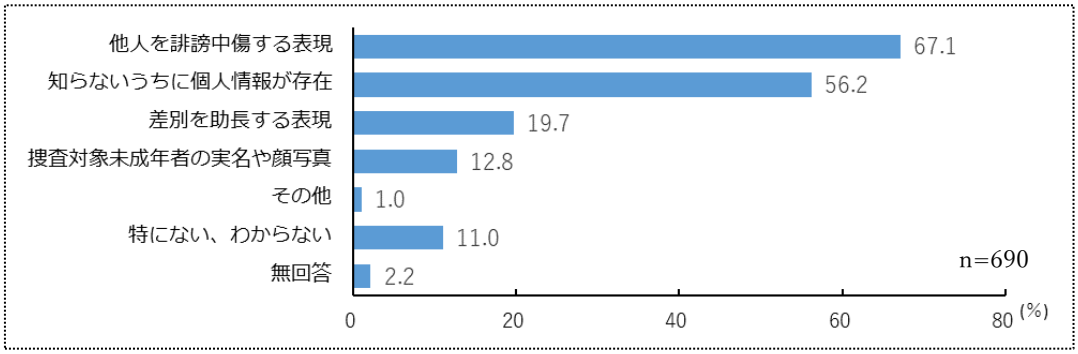


前回調査と比較したところ、「周囲の人の無責任な噂」と回答した人が１０．６ポイント、「特にない、わからない」が３．５ポイント増加し、「過度な取材等によるプライバシーの侵害」が３．６ポイント、「犯罪被害者等に対する保障が不十分」が１５．３ポイント、「捜査や裁判での心理的・時間的・金銭的な負担」が９．３ポイント減少しました。

（９）　インターネットによる人権侵害

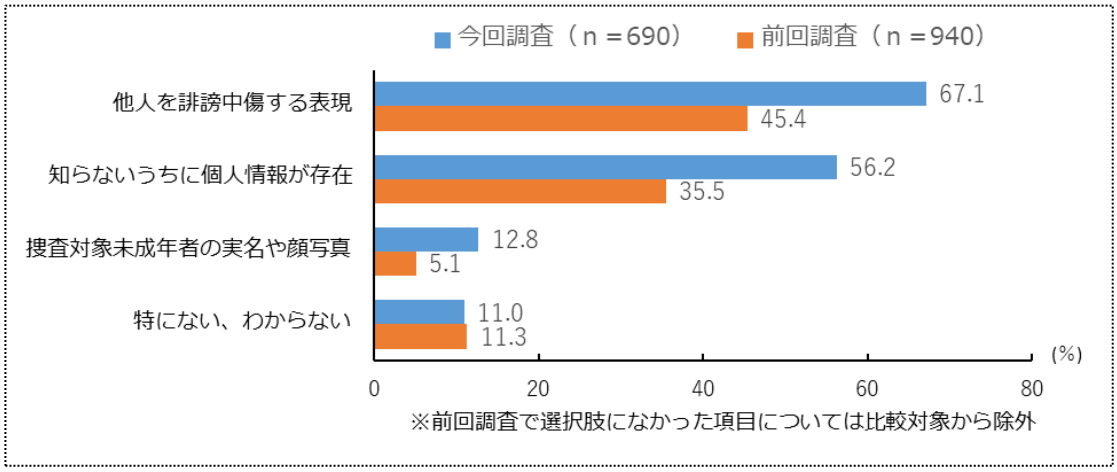
【問１６】　インターネットによる人権侵害に関することで、人権上問題と思われるのはどのようなことですか。（複数回答）

	回答数	割合		回答数	割合
他人を誹謗中傷する表現が掲載されている	463	67.1	その他	7	1.0
知らないうちに個人のプライバシーが侵害されるような情報が存在する	388	56.2	特にない、わからない	76	11.0
差別を助長する表現が掲載されている	136	19.7	無回答	15	2.2
捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されている	88	12.8	回答者数	690	



「他人を誹謗中傷する表現が掲載されている」と回答した人が最も多く、４６３人（６７．１%)、次いで「知らないうちに個人のプライバシーが侵害されるような情報が存在する」が３８８人（５６．２%)、「差別を助長する表現が掲載されている」が１３６人（１９．７%)、「捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されている」が８８人（１２．８%）でした。

▽　今回調査の上位項目における前回調査との比較（割合）

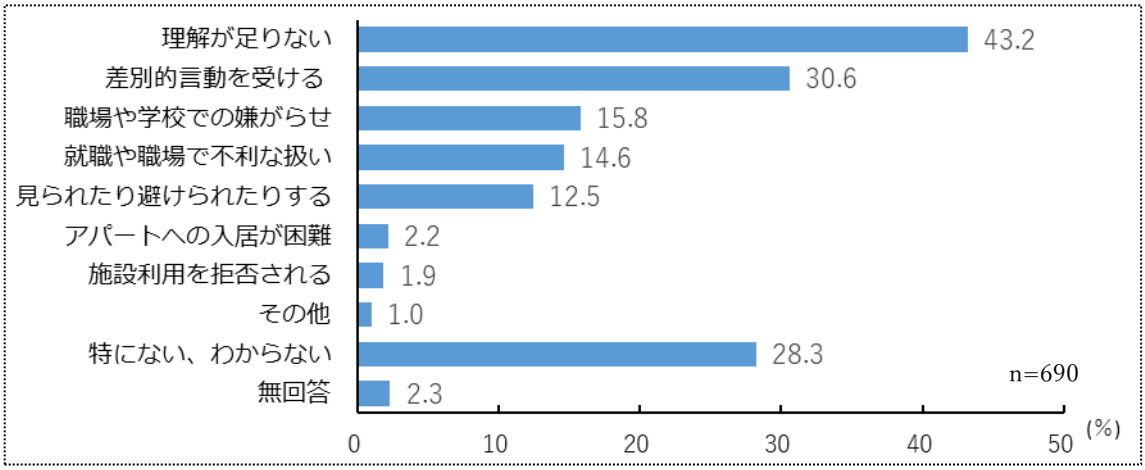


前回調査と比較したところ、「他人を誹謗中傷する表現が掲載されている」と回答した人が２１．７ポイント、「知らないうちに個人のプライバシーが侵害されるような情報が存在する」が２０．７ポイント、「捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されている」が７．７ポイント増加し、「特にない、わからない」が０．３ポイント減少しました。

(10)　ＬＧＢＴなど性的少数者

【問１７】　ＬＧＢＴなど性的少数者に関することで、人権上問題と思われるのはどのようなことですか。（複数回答）

	回答数	割合		回答数	割合
性的少数者に対する理解が足りない	298	43.2	アパートなどの住宅への入居が困難	15	2.2
差別的言動を受ける	211	30.6	店舗等の入店や施設利用を拒否される	13	1.9
職場や学校で嫌がらせをされる	109	15.8	その他	7	1.0
就職や職場で不利な扱いを受ける	101	14.6	特にない、わからない	195	28.3
じろじろ見られたり、避けられたりする	86	12.5	無回答	16	2.3
			回答者数	690	

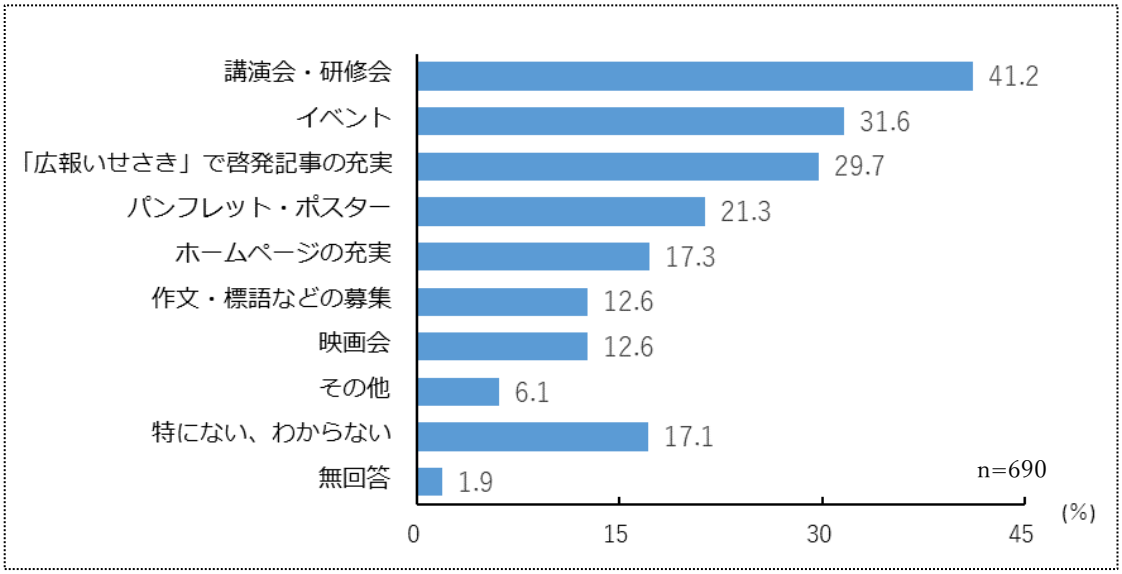


「性的少数者に対する理解が足りない」と回答した人が最も多く２９８人（４３．２％）、次いで「差別的言動を受ける」が２１１人（３０．６％）、「特にない、わからない」が１９５人（２８．３％）、「職場や学校で嫌がらせをされる」が１０９人（１５．８％）、「就職や職場で不利な扱いを受ける」が１０１人（１４．６％）でした。

(11)　効果的な啓発方法

【問１８】　あなたは、人権について理解を深めていくために、どのような啓発方法が効果的と思いますか。（複数回答）

	回答数	割合		回答数	割合
講演会・研修会	284	41.2	映画会	87	12.6
キャンペーン等のイベント	218	31.6	人権に関する作文・標語などの募集	87	12.6
「広報いせさき」で啓発記事の充実	205	29.7	その他	42	6.1
パンフレット・ポスター	147	21.3	特にない、わからない	118	17.1
ホームページの充実	119	17.3	無回答	13	1.9
			回答者数	690	



「講演会・研修会」と回答した人が最も多く２８４人（４１．２％)、次いで「キャンペーン等のイベント」が２１８人（３１．６％)、「『広報いせさき』での啓発記事の充実」が２０５人（２９．７％)、「パンフレット・ポスター」が１４７人（２１．３％）でした。

Ⅲ　資料（調査票）

「人権に関する市民意識調査」のお願い

市民の皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

伊勢崎市では、平成２７年に「第２次人権教育・啓発に関する伊勢崎市基本計画」を策定し、すべての市民が一人ひとりの人権を尊重した考え・行動をとることができる社会の実現を目指し、各種施策を推進しています。

今回、市民の皆様のご意見をお聴きし、新基本計画策定の重要な資料とするため、人権に関する意識調査を実施することにいたしました。調査に当たりまして、１８歳以上の方２，０００人を無作為に選ばせていただきました。調査は無記名で、回答はすべて統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。

お忙しいところ、誠に恐縮ですが、本調査に協力くださいますようお願いいたします。

令和５年１０月

伊勢崎市長　　臂　　泰　雄

ご記入方法などについて

・　**封筒の宛名のご本人様がお答えください。**（代筆・代理入力は差支えありません）

・　ご回答は「**郵送**」または「**インターネット**」**どちらか一方**でお願いします。

▼　郵送で回答する場合

・　記入が終わりましたら、**同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**

令和５年１１月１５日（水）までに郵便ポストに投函してください。

▼　インターネットで回答する場合

・　**下記ＱＲコードまたはＵＲＬから**回答ページにアクセスの上、

令和５年１１月１５日（水）までに入力してください。

〔回答フォームＵＲＬ〕

https://logoform.jp/form/Gpfu/299439

【問い合わせ先】

伊勢崎市役所　市民部人権課　人権啓発係

電話　27－2730（直通）　／　E-mail　jinken@city.isesaki.lg.jp

問１　あなたの性別についてお答えください。

１．女性	２．男性	３．選択しない

問２　あなたの年齢は、このアンケートに回答する時点で何歳ですか。

１．１８～２９歳	２．３０歳代	３．４０歳代
４．５０歳代	５．６０歳代	６．７０歳以上

問３　あなたの職業は、次のどれにあてはまりますか。（○は１つだけ）

１．会社員・公務員・団体職員
２．自営業
３．パートタイマー・アルバイト
４．主婦・主夫
５．学生
６．無職
７．その他　（　　）

問４　憲法では、基本的人権を守るため、個人の尊重、幸福追求の権利、教育を受ける権利、勤労の権利などを定めています。あなたは、基本的人権が守られていると思いますか。（○は１つだけ）

１．よく守られていると思う	３．あまり守られていないように思う
２．だいたい守られていると思う	４．わからない

問５　あなたが関心を持つ人権問題はどのようなものがありますか。（○はいくつでも）

１．女性の人権	10．インターネット上での人権
２．子どもの人権	11．LGBT など性的少数者に関する人権
３．高齢者の人権	12．刑を終えて出所した人に関する人権
４．障害のある人の人権	13．アイヌの人々に関する人権
５．部落差別（同和問題）に関する人権	14．ホームレスの人権
６．外国籍の人の人権	15．北朝鮮による拉致被害者の人権
７．エイズ患者・HIV 感染者の人権	16．特にない
８．ハンセン病元患者等の人権	17．その他
９．犯罪被害者とその家族の人権	（　　）

問６　あなたやあなたの周りの人が、次のような差別や人権侵害を受けたことがありますか。（○はいくつでも）

１．女性に対する差別	８．犯罪被害者やその家族に対する差別
２．子どもへのいじめ・虐待	９．インターネットでの人権侵害
３．高齢者に対する差別	10．LGBT など性的少数者に対する差別
４．障害のある人に対する差別	11．受けたことはない、わからない
５．部落差別（同和問題）に関係する差別	⇒　問７へお進みください
６．外国籍の人に対する差別	12．その他
７．エイズ患者・HIV 感染者に対する差別	（　　）

※　問6-1は、問6で11に○を付けた方は回答不要です。

問6-1　あなたやあなたの周りの人は、その差別や人権侵害に対しどのように対処しましたか。（○はいくつでも）

1．相手に抗議した	7．民間団体・ボランティアに相談した
2．身近な人に相談した	8．学校に相談した
3．警察に相談した	9．黙って我慢した
4．弁護士に相談した	10．その他
5．法務局・人権擁護委員に相談した	（　　）
6．県や市町村などの公的機関に相談した	

問7　あなたは、これまでに、次のような差別的な行動や発言をしてしまったことがありますか。（○はいくつでも）

1．女性に対する差別	8．犯罪被害者やその家族に対する差別
2．子どもへのいじめ・虐待	9．インターネットでの人権侵害
3．高齢者に対する差別	10．LGBTなど性的少数者に対する差別
4．障害のある人に対する差別	11．特にない、わからない
5．部落差別（同和問題）に関係する差別	12．その他
6．外国籍の人に対する差別	（　　）
7．エイズ患者・HIV感染者に対する差別	

問８　女性に関することで、人権上問題と思われるのはどのようなことですか。
（○は２つまで）

１．「男は仕事」「女は子育て」などの固定的な性別役割分担意識
２．売春・買春
３．女性の働く風俗営業
４．配偶者やパートナーからのＤＶ（暴力・暴言など）
５．職場における性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）
６．女性のヌード写真を掲載した雑誌
７．女性の体の一部や媚びたポーズ・視線を、内容に関係なく使用した広告
８．女性の容ぼうを競うミス・コンテスト
９．女性に対するストーカー（つきまとい行為）
10．痴漢やその他の性被害
11．特にない、わからない
12．その他　（　　）

問９　子どもに関することで、人権上問題と思われるのはどのようなことですか。
（○は２つまで）

１．仲間はずれや嫌がらせなどのいじめ
２．教師からの体罰
３．髪型や服装を強制する校則
４．学校や部活動などでのリンチ、シゴキ
５．親からの虐待
６．親による自分の考え方の強制
７．特にない、わからない
８．その他　（　　）

問 10　高齢者に関することで、人権上問題と思われるのはどのようなことですか。
（○は２つまで）

１．知識や経験を活かす場が乏しい
２．認知症等の高齢者に対する虐待
３．アパートなど住宅への入居が困難
４．日常生活を送るのに不便がある
５．家庭や地域社会から孤立している人がいる
６．高齢者に対して周囲の理解が足りない
７．特にない、わからない
８．その他　（　　）

問 11　障害のある人に関することで、人権上問題と思われるのはどのようなことですか。
（○は２つまで）

１．希望する職業に就けない
２．結婚をする際に周囲から反対を受ける
３．アパートなど住宅への入居が困難
４．日常生活を送るのに不便がある
５．地域社会から孤立しがちである
６．障害のある人に対して周囲の理解が足りない
７．特にない、わからない
８．その他　（　　）

問 12　あなたは同和地区と呼ばれている地区があること、あるいは部落差別（同和問題）といわれる問題を知っていますか。（○は１つだけ）

１．知っている　　⇒　以下の設問へお進みください
２．知らない　　⇒　問 13（8ページ）へお進みください

※　問 12-1～問 12-2は、問 12 で１に○を付けた方だけお答えください。

問 12-1　あなたが、部落差別（同和問題）について、初めて知ったきっかけは何ですか。（○は１つだけ）

１．祖父母、父母、兄弟などの家族から聞いた
２．親戚の人から聞いた
３．近所の人から聞いた
４．職場の人から聞いた
５．友人から聞いた
６．学校の授業で教わった
７．テレビ・ラジオ・新聞・本で知った
８．インターネットで知った
９．部落差別（同和問題）に関する集会や研修会で知った
10．都道府県や市区町村の広報誌や冊子などで知った
11．部落差別（同和問題）は知っているが、きっかけは覚えていない
12．その他　（　　）

問 12-2　あなたは、部落差別（同和問題）はなくなったと思いますか。（○は１つだけ）

１．なくなったと思う　　⇒　問 13（8ページ）へお進みください
２．少しは残っていると思う　⇒　以下の設問へお進みください
３．まだあると思う　　⇒　以下の設問へお進みください

※　問 12-3～問 12-5 は、問 12-2 で２か３に○を付けた方だけお答えください。

問 12-3　あなたは、世間の人々が、どういう場合に部落差別（同和問題）を気にしたり、意識しているとお考えですか。（○はいくつでも）

1．結婚するとき
2．人を雇うとき
3．同じ職場で働くとき
4．同じ学校に通学するとき
5．隣近所で生活するとき
6．同じ団体（町内会やＰＴＡなど）のメンバーとして活動するとき
7．飲食したり、つきあったりするとき
8．店で物を買うとき
9．仕事の上でかかわりをもつとき
10．特に意識してはいないと思う
11．わからない
12．その他　（　　）

問 12-4　部落差別（同和問題）について、あなたはどう考えますか。（○は１つだけ）

1．非常に難しい問題なので、できるだけ避けていきたい
2．人間の自由や平等などにかかわる問題なので、国民（市民）全体で考える
3．同和地区の人々の問題であるから、自分は関係ない
4．あまりさわがず、そっとしておくのがよい
5．特に関心がない
6．わからない
7．その他　（　　）

問 12-5　あなたは、部落差別（同和問題）を解決するためには、どうしたらよいとお考えですか。重要だと思うものを次から選んでください。（○は２つまで）

１．同和地区の生活環境をよくする
２．同和地区の人々の収入を向上させ、教育水準を高め、生活力を強くする
３．同和地区の人々が、差別に負けず、積極的に行政や同和地区外の人々に働きかけていく
４．学校教育、社会教育を通じて、差別をなくし、人権を大切にする教育活動、啓発活動を積極的に行う
５．差別をしたり、差別を営利目的などに使ったりする者を法律で処罰する
６．同和地区や差別のことを口に出さないで、そっとしておけば自然になくなる
７．わからない
８．その他　（　　）

問 13　外国籍の人に関することで、人権上問題と思われるのはどのようなことですか。（○は２つまで）

１．就職が困難
２．不当に解雇されたり、低賃金で働かされるなど労働条件が悪い
３．結婚差別を受ける
４．町内会など地域社会の受け入れが十分でない
５．店によっては入店を拒否される
６．アパートなどの住宅への入居が困難
７．特にない、わからない
８．その他　（　　）

問 14　エイズ患者・HIV 感染者に関することで、人権上問題と思われるのはどのようなことですか。（○は２つまで）

１．感染しているとわかった社員が会社を解雇される
２．園や学校で、仲間はずれにされたり、よからぬ（悪い）噂を流される
３．感染者や患者が病院で治療や入院を拒否される
４．結婚を断られたり、離婚を迫られたりする
５．マスメディアで、興味本位や不正確な報道が行われる
６．特にない、わからない
７．その他　（　　）

問 15　犯罪被害者やその家族に関することで、人権上問題と思われるのはどのようなことですか。（○は２つまで）

１．周囲の人の無責任な噂
２．職場や学校、地域で十分な理解が得られていない
３．過度な取材等によるプライバシーの侵害
４．SNS などのインターネットによる誹謗中傷
５．犯罪被害者等に対する保障が不十分
６．捜査や裁判での心理的・時間的・金銭的な負担
７．特にない、わからない
８．その他　（　　）

問 16　インターネットによる人権侵害に関することで、人権上問題と思われるのはどのようなことですか。（○は２つまで）

１．他人を誹謗中傷する表現が掲載されている
２．差別を助長する表現が掲載されている
３．捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されている
４．知らないうちに個人のプライバシーが侵害されるような情報が存在する
５．特にない、わからない
６．その他　（　　）

問 17　ＬＧＢＴなど性的少数者に関することで、人権上問題と思われるのはどのようなことですか。（○は２つまで）

１．性的少数者に対する理解が足りない
２．職場や学校で嫌がらせをされる
３．差別的言動を受ける
４．就職や職場で不利な扱いを受ける
５．アパートなどの住宅への入居が困難
６．店舗等の入店や施設利用を拒否される
７．じろじろ見られたり、避けられたりする
８．特にない、わからない
９．その他　（　　）

問 18　あなたは、人権について理解を深めていくために、どのような啓発方法が効果的と思いますか。（○はいくつでも）

１．講演会・研修会	６．人権に関する作文・標語などの募集
２．キャンペーン等のイベント	７．ホームページの充実
３．映画会	８．特にない、わからない
４．「広報いせさき」で啓発記事の充実	９．その他
５．パンフレット・ポスター	（　　）

■　人権に関するご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。（任意回答）

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて郵便ポストに投函してください。

令和５年度
人権に関する市民意識調査
結果報告書

編集・発行　伊勢崎市市民部人権課
〒372-8501
伊勢崎市今泉町二丁目４１０
電話　0270-24-5111（代表）
　　0270-27-2730（ダイヤルイン）
e-mail jinken@city.isesaki.lg.jp